

平成24年度 第2回荒川地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成24年7月25日(水) 15:30~16:55
2. 開催場所 荒川支所 3階 第1・2会議室
3. 出席委員 会田健次、松田昭平、田島 勉、片岡 弘、石山忠一、小川 巖、石山 健、信田瑠美子、山田俊治郎、小関シヅ子
4. 欠席委員 鈴木 薫、櫻井 昇
5. 出席職員 平野荒川支所長、
荒川支所自治振興室；川崎室長、小川(智)副参事
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成24年度 第2回荒川地区地域審議会 会議次第

日 時：平成24年7月25日（水）15:30～

会 場：荒川支所 3階 第1・2会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1)「定住の里づくりアクションプラン」で示した施策の方向性の実現に向けた検討

テーマ1

「地域資源（清流荒川等）を守り活かして、産業の活性化につなげていく具体的方策について」

4 その他

5 閉 会

会議経過

1. 開会 (15:30)

事務局； ただいまから平成24年度第2回荒川地区地域審議会を開会します。開会にあたりまして当地域審議会の会長よりごあいさつを申し上げます。

2. あいさつ

会長； 今年度第2回目の地域審議会をご案内いたしましたところ、ご多用中にもかかわらずお集まりいただきましてありがとうございます。

本日の議題はお手元の次第のとおりで、1回目の会議でみなさんに決めていただきました「定住の里づくりアクションプラン」の具現化策について議論していただきます。荒川地区から上げた三つの方向性のうち、今回は清流荒川等を活かした産業の活性化策について議論していただきたいと思います。

なお、今年度は市長からの諮問は予定していないそうですので、地域審議会の本来の役割である合併後の均衡ある発展に係るご意見等も、その他のところでお出しいただきたいと思います。

事務局； それでは委員の欠席についてご報告します。県立坂町病院長の鈴木委員から欠席の旨ご連絡をいただいております。また、PTA連絡協議会の櫻井委員からは会議に遅れる旨の連絡をいただいておりますので、ご報告いたします。

次に資料の確認をお願いいたします。会議次第、資料1（仮）〇〇地区地域活性化推進事業企画書、資料2第2回地域審議会検討資料、別紙資料として村上市が行っている地域活性化に係る補助事業の内容です。以上4種類の資料となっております。

それでは会議を進めさせていただきます。ここからは会長に議長をお願いし、会議を進めていただきたいと思います。

3. 議事

会長； それでは、議事に入ります。議題の1「定住の里づくりアクションプランで示した施策の方向性の実現に向けた検討」となっております。昨年度、みなさんに審議していただいたアクションプランの三つの項目のうち、「豊かな自然を守るための取組を進めるとともに、清流荒川の地域資源のブランド化を進め、地域産業の活性化につなげる必要があります」という項目の具現化策について本日のテーマとしております。進め方としては、このテーマについて、みなさんからいろいろと意見を出していただいて、今日は出しっぱなしで結構だと思いますが、それを事務局にまとめてもらって、今後につなげていきたいと考えておりますので、忌憚のない「想い」をお聞かせいただきたいと思います。

検討の参考としていくつか資料がありますので、事務局から説明してください。

事務局； それでは説明いたします。

【資料1、資料2及び別紙資料により説明】

- 会 長； 最初に資料1の企画書について、質問等がありましたらお願いします。
私から1点お願いします。これは各地区でこういう事業を行ってほしいと市
に対して提案するということでしょうか。
- 事 務 局； そうです。
- 委 員； 資料2の補助金とは直接関係ないということでもいいでしょうか。
- 事 務 局； その通りです。
- 会 長； それでは、テーマに沿ってご意見をいただきたいと思います。
- 委 員； まず、清流荒川の宣伝を行う必要があると思います。パンフレットを作って
中央でPRするとか。
- 委 員； 今の意見のように、清流荒川を直接宣伝していくことも大事です。しかし同
時に、すそ野と言うか、周りから固めていくことも大切だと思います。
前に話したことがあると思いますが、朝日山酒造の嶋さんという人が、久保
田という酒を造る時に、まずホテルの住める環境づくりに取り組んでイメージ
アップを図ったということを知りました。そういう意味で、総合運動公園をホ
テルの里にできたら、清流荒川のイベントをするにも、より宣伝効果が上がる
のではないのでしょうか。
もう一つ、小学校で鮭の稚魚を育てて放流していますが、それを例えば商店
とか、事業所とか、まちの人たちに広げていくことができれば、荒川の鮭に対
する地域全体の意識向上や宣伝につながるのではないのでしょうか。
- 委 員； 荒川には漁業組合があるわけですので、漁協と連携しながら、賑わいを持た
せる方向に持っていくべきです。宣伝が下手なので、もっとPRに力を入れて、
人が寄ってくる方策を検討することが大切だと思います。
- 委 員； 荒川漁協や釣り客を受け入れる旅館などのサービスが良くないという評判を
聞きます。そういう部分を改善しながら、せつかくの資源を活かしていかなけ
ればならないと思います。大元の漁協にしっかりしてほしいと感じます。
- 委 員； 魚だけではなく、昔は米も「荒川米」だったわけですので、原点に返って考
えることも必要ではないでしょうか。
- 委 員； 今、漁業組合がうるさくて、子どもが川で遊べないようです。あとは学校や
PTAも。
- 委 員； 50万円の予算で何ができるのかということもありますが、例えば荒川は鉄道
のまちでもあるので、機関車をひっぱり出してくるとかの具体的な議論が必要
だと思います。
- 委 員； 限られた予算でできることは知れているので、JAなどとタイアップしてい
くべきではないでしょうか。
- 委 員； 確かに川はきれいで鮎もいますが、釣りに来る方はほとんど車の中で泊まっ
ています。そういう人が旅館とかに泊まって、はじめて地域活性化につながる
わけです。
荒川が三面川に負ける理由は風です。せつかく遠くから来ても、だしの風で
竿も出せない状況では、三面川に人が流れていってしまう。こういう実態を把
握した上で、事業を考えていかなければならないでしょう。

- 会長； 直接経済の活性化にもあまり貢献していないということでしょうか。
- 委員； そういうことだと思います。釣りマニアは車の中で寝る人が多いので、旅館に泊まった場合は釣り券を半額にするなどの連携を考えなくてはならないと思います。
- 会長； 昔、荒川で鮎の塩焼きや鮭のつかみ取りをさせるイベントをやったこともありました。そういうイベントでもいいと思います。
- 委員； 単発のイベントではその時だけで終わってしまうので、そういう意味で地盤から固めていく取り組みの必要性を感じます。先程、鮭の稚魚の話をしました。同時に鮭文化もあるわけですので、その文化を若い世代につなげていくような取り組みの中でのイベントであれば、定着していくのではないのでしょうか。
- 委員； 運動公園のホタルの話ですが、テニスコートの横のカナールでできるのではないですか。
- 委員； カワニナが住めればできると思います。
- 委員； 最近、熊も出るので管理に気をつけなければなりません。
- 委員； 熊が出るということは餌も豊富ということです。
- 委員； 切田にも今ホタルがたくさんいます。
- 委員； 少しばかり飛んでいても仕方がないので、運動公園に来ればホタルで一杯だというように集中してやれば、人も集まってくるのではないのでしょうか。
- 委員； 一年では無理なので、継続して取り組んでいく必要があります。
- 事務局； まちづくり協議会の事業部会で、運動公園をいかに活用するか計画を検討中であり、それと取り組みが重複しないように考えていく必要があります。タイアップした事業ということであれば可能だと思います。50万円という予算で一過性のイベントでは意味がないということですので、いかに継続していくか、先頭に立っていく人材育成もしていかなければならないと思いますので、その点も考慮していただいて、いかに50万円を有効に活用していくかご検討いただきたいと思います。
- 委員； 今はあちこちでホタルの里的な取り組みがあるでしょうから、やるのであれば大々的にやらないとダメでしょう。
- 委員； 荒川地区に来てもらって、泊まってもらって、お金を落としてもらおうようにしないと活性化につながらないということです。
- 委員； 旅館等も巻き込んでいくべきです。米についても「荒川米」を食べてもらえるように検討するなど必要です。
- 委員； 継続しないと意味がないということですので、イメージとしてはJAや商工会、漁協などに引き継いでやってもらえるような事業のイメージでしょうか。最近は「どんぶり合戦」など食べ物に関係するイベントが盛んなので、そういうものも産業の活性化につながると思います。
- 委員； 11月のキラキラフェスティバルとぶつけても楽しいものになるのではないのでしょうか。
- 委員； 駅前のイルミネーションについてですが、人が全然歩いていないので、旅館等も特徴ある料理を考えるなど、努力してもらわないと、人の流れを呼べない

と感じます。

- 委員； この事業を3か年の中で50万円の予算で実施して、相当の効果が出れば、その後も継続される可能性があるのではないのでしょうか。3年で一定の効果が見えるようにするためには、ボランティアでやる部分が絶対必要でしょう。
- 委員； 先程も言いましたが、機関車をあんなところに置いていないで、表に出せないのでしょうか。
- 委員； それはお金がかかりますね。
- 委員； 高坪山も結構人気があります。
- 委員； 人気はありますが、勝手に良かれと思って木を切ったり、階段を作ったりする人がいます。また、それを注意する人がいない状態です。何も資格のない人が注意しても受け入れられないし、常に山にいることもできません。
- 委員； まちづくり協議会が運動公園で事業を計画するなら、その先の高坪山で何か考えれば連携できますよね。
- 委員； やはり荒川のシンボルが必要だと感じます。だから機関車と言ったわけです。
- 委員； 風力発電はどうでしょうか。
- 会長； 以前取り組んで、風の強さが足りなくてダメだった経緯があります。
- 委員； 何を考えるにも、その後に継続されるためには、事業効果が表れるところまで考えて事業を提案する必要があると思います。
- 委員； テーマからはずれませんが、朝日地区の「さんさんまつり」は活気がありますね。10数年続いているそうですが、そういう継続していく取り組みが必要なのだと思います。
- 委員； 荒川大祭の花火の数は減ってきていませんか。
- 委員； そんなに減っていないですが、今の数で精一杯です。旧荒川町の祭りだろうという意識から、村上市の財産だという意識に少しずつは変わってきていると思います。民謡流しの前の日中に、いくらでもイベントができるのですが、そこをいかに活用するかが課題です。
- 委員； 荒川商工会だけでなく、村上市全体で取り組む姿勢が必要だと感じます。
- 委員； 清流荒川の鮎釣りや荒川大祭を結び付けるのもいいです。
- 会長； 時間の関係もありますので、ほかにみなさんからご意見はありませんか。それでは、議事は以上で終了します。

4. その他

- 会長； その他に入りますが、みなさんからその他として何かありませんか。ないようですので、その他については以上で終了し、今日の会議を閉会したいと思います。
- 事務局； 長時間にわたりまして慎重審議いただき、ありがとうございました。以上を持ちまして平成24年度第2回地域審議会を終了いたします。大変お疲れさまでした。

5. 閉会 (16:55)